



# 舞 鶴

進路指導部通信

3年生 6月号 鹿児島県立国分高等学校 [令和2年6月1日発行]

## いよいよ6月

6月に入りました。コロナウィルスの影響で、県総体をはじめ各種大会が中止となり、部活動をしている人は、引退のタイミングがうまく見つからず、やるせない気持ちになっているかもしれません。一方で、この時期は、受験に向けていかに気持ちを切り替えるかが重要になる時期です。それぞれの部活動で目標に向けて打ち込んできた情熱や、今の悔しさを、今度は3月の進路実現という目標に注いでみてください。

部活動をしていた人の本格的な受験勉強スタートはこの6月です。部活動に参加していなかった生徒や浪人生に比べれば本格的なスタートは遅れましたが、今からの努力で充分志望校の学力に近づいていきます。部活動に使っていた時間をいかに有効活用するかが勝負となりますし、日頃の勉強に対する集中力を今まで以上に高めていく必要があります。早く受験に向けての心構えや生活リズムを構築してください。

秋風が吹く頃から受験勉強を始めたのでは絶対に間に合いません。特に英数国はその学力が結果となって表れるのに5ヶ月くらいはかかります。この6月から8月頃までを充実させ、3教科を中心に自分の学力をどのくらい上げていくかが、受験のポイントとなります。夏休みが終わるまでが天王山だと考え、まずはできることから取り組んでみましょう。

## 3年生の放課後自習始まる

中間考査が終わり、受験に向けて具体的に行動に移る時期になってきました。いよいよ放課後自習の開始です。例年は文化祭終了後から始めていましたが、今年は少し早めて6月1日(月)からスタートすることで、学年全体で勉強に打ち込む雰囲気を作りたいと思います。火・木曜日の7限目は、まだ部活動を引退していない人を除いて、受験に向けた自習を全員で行い、さらに平日の17:00~18:00は希望者による登録制の自習を始める予定です。鹿児島県内の進学校では、ほとんどのところが6月から放課後補習や放課後自習が始まります。中には、全員に対して放課後補習を

6時半まで課しているという学校や7時まで自習を課しているという学校の話もききます。本校はみなさんの自主性に委ねることにしていますが、他校の生徒に負けないように、放課後自習に是非登録して、自主的に頑張ってもらいたいと思います。放課後自習に関しては、クラスの雰囲気がとても大事になってきますので、黙学ができるように1人1人が雰囲気を作って欲しいと思います。

例年、この放課後自習で学力を定着させていく生徒が、志望校への合格を勝ち取っていくようです。クラスメイトと切磋琢磨しながら、学級全体で成長できた先輩も多いので、みなさんも頑張ってください。

## 6月マーク模試に向けて

6日(土)と7日(日)に進研マーク模試が行われます。マーク式の試験は「共通テスト」を意識した模試であり、6月を含め年3回程度予定しています。本番のつもりで臨んでほしいと思います。また、自己採点も行いますので、志望する大学の目標点と自分の実力にどれくらい差があるか知る機会にもなります。この模試の自己採点を元に、苦手科目・分野をあきらかにし、夏へ向けて学習計画を立ててみてください。

## 進路のてびき

『未来へ向かって』 近日配付 !

本校の進路の手引きである『未来へ向かって』という冊子を学年ごとに近々配付する予定です。この冊子は資料編と進路学習編の2部構成になっています。資料編では卒業生の進路状況や合格者数、3年次の実力考査と各大学の可否の相関、入試スケジュールや大学入学共通テストの概要、卒業生の合格体験記を掲載しています。また、進路学習編は、LHRや総合的な学習の時間で活用する学習内容がまとめられています。担任の先生からも見方などの説明があると思いますので、各自で繰り返し読み、自分の進路実現に活用してください。保護者の方も、ぜひ御一読いただきたいと思います。



## 2020 年度大学入試結果分析

## 大学入試センター試験 編

以下は、今年1月実施の大学入試センター試験結果の概要です。本年度から新しく大学入学共通テストが実施されますが、入試結果を参考にしてみてください。

## ● 志願者・受験者

- ① 志願者は557,699人、受験者は527,072人。  
(新卒高校卒業者の43.3%の人が受験しています。)
- ② 志願者数は昨年度に比べ19131人、現役志願者数は12715人となっており、その主な原因として18歳人口の減少が上げられる。

## ● 平均点

## ① 全国平均点

	平均点	前年比
7科目文系型	548点	-22点
7科目理系型	559点	-17点

## ② 主要科目全国平均点

教科・科目	平均点
英語	116.3
リスニング	28.7
数Ⅰ・A	51.8
数Ⅱ・B	49.0
国語	119.3
物理基礎	33.2
化学基礎	28.2
生物基礎	32.1
地学基礎	27.0
物理	60.6
化学	54.7
生物	57.5
世界史B	62.9
日本史B	65.4
地理B	66.3
倫理	65.3
現代社会	57.0

左記は主要科目の全国平均点です。教科・科目にもよりますが、だいたい100点満点で60点程度に設定されています。国公立大学合格を目指すのであれば、まずは6割の得点率、つまり全国平均点くらいはとることが重要です。4月実施の課題考査の結果や、先日の中間考査の手応えはどうでしたか。この時期は、苦手科目の克服に取り組みましょう。一方で、得意科目をしっかり伸ばす努力も必要です。

## コラム

「青年時代は知恵を磨く時であり、  
老年はそれを実践する時である。」

これは哲学者ルソーの言葉です。一体どういうことなのでしょう？実は皆さんが勉強することの意義について、述べられているものです。

学生は学校に通い勉強することが義務です。では、何のために勉強するのでしょうか。「良い大学に合格するため」とか、「大企業に就職するため」とかいろいろな目的が聞こえてきそうです。もちろん、そういう目的があってもいいでしょう。しかし、それだけではないはずです。皆さんの人生の到達地点は大学に行くことではないであろうし、また、大企業に入ることではないでしょう。その後も人生は続きます。どのように働き、どのように生きるのか、ということが幸せな人生を送るポイントなのではないのでしょうか。

今年は高校3年生で、皆が受験勉強に取り組むはずですが、希望の進路はそれぞれでしょうが、自らの希望や夢に向かって努力していることでしょう。それはまさに「努力すること」を学んでいるのだと考えてください。目的に向けて努力することを学び、たくさんの成功と失敗を経験することで、皆さんの「知恵」は磨かれるのです。

部活動や習い事、または趣味で、まだ経験が浅く技術も拙かった頃に、試行錯誤しながら徐々に上達していったことはありませんか？あの未熟だった頃に磨いた知恵や技能が基礎であり、上達した後までその基礎が生かされていると感じている人も多いと思います。今、皆さんは自らの人生における基礎を築いているのです。これから大人になって社会に出た時に、その基礎が応用されることでしょう。その時にどんな応用(実践)が行われるかによって、得られる充実感が変わってくるはずですが、大人になって充実した時間を過ごし、幸せを実感できるようにするために、青年時代に知恵を磨いてみませんか？

